



株式会社 ウイルコホールディングス

私たちはお客様に、
安心品質をお届けします。

第40期 事業報告書

(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

目次

第40回定時株主総会決議ご通知	1
株主の皆様へ	2
事業内容の紹介	3-5
主要な連結経営指標等の推移	6
連結財務諸表	7-8
個別財務諸表	9
会社概要／株式情報	10

株 主 各 位

平成 31 年 1 月 29 日

石川県白山市福留町 370 番地
株式会社ウイルコホールディングス
代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子

第 40 回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第 40 回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第 40 期（自 平成 29 年 11 月 1 日 至 平成 30 年 10 月 31 日）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第 40 期（自 平成 29 年 11 月 1 日 至 平成 30 年 10 月 31 日）
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第 1 号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金については 1 株あたり 2 円とすることに決定いたしました。

第 2 号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に若林裕紀子、若林圭太郎、大槻健、西村保彦、若林和芳、山本実、金井行雄の 7 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第 3 号議案 監査等委員である取締役 3 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に見山英雄、丸山三樹雄、織田健治の 3 名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第 4 号議案 補欠の監査等委員である取締役 1 名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、補欠の監査等委員である取締役に柳谷内健一が選任されました。

以上

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第40期(平成29年11月1日～平成30年10月31日)が終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

1. 当期の業績の概況

当連結会計年度(平成29年11月1日～平成30年10月31日)における我が国経済は、2018年7-9月期のGDP成長率が、年率換算で実質▲2.5%減と2四半期ぶりのマイナス成長となりました。国内経済は前半緩やかな拡大基調にありましたが、後半は個人消費が伸びず足踏み状態となっております。米国においては金融緩和の出口政策が続く中、新たな米中の貿易摩擦の影響が懸念され、世界経済の下振れリスクが増大しつつあります。

当社グループを取り巻く環境は、10月の紙・板紙の国内出荷は前年同月対比で15か月ぶりに増加とはなりましたが、内訳をみると印刷・情報用紙は0.1%の減少であり、17か月連続の減少となりました。引き続き、広告のデジタル化等により、商業印刷の需要減少が進んでおります。用紙需要は軟調ではありますが、製紙各社はそれ以上の減産を進め、用紙の価格改定に取り組んでいることから、先行きの用紙価格の上昇は必至の状況にあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、ECサイト「ワイルダイレクト」を立ち上げ、デジタル印刷の受注増加を図っております。また、当社独自製品の受注増加のために新たなサイト「ワイルコプロダクツ」を立ち上げました。アクセス数の増加に伴い売上高も増加しており、認知度の向上を図り、更なる売上拡大を目指します。しかし、チラシ、無料情報誌等の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。その結果、セグメント売上高は102億4千5百万円(前年同期比3.1%減)となりました。また、製造面では、オペレーターの多能工化や提案制度による生産性向上を通じ効果は上がってきておりますが、先行きの設備投資による減価償却費、物流費の増加をまかなうことができず、セグメント利益は1億9千9百万円(前年同期比25.5%減)となりました。

メディア事業につきましては、主力商品である紙媒体広告の減少に対応する為、無料情報誌の発行回数を見直し等のコスト抑制策を講じましたが、売上の減少をカバーするにはいたりませんでした。一方、求人・人材事業、新規事業の顧客ホームページ制作につきましては、受注件数は堅調に伸びており、この趨勢は続くものと思いますが、今期のセグメント売上高は21億4千3百万円(前年同期比8.8%減)、セグメント利益は1億4千6百万円の損失(前年同期は8千万円の損失)となりました。

知育事業につきましては、主力商品である知育絵本が新規需要、重版需要とともに堅調であり、昨年に投入した趣味関連の新企画も引き続き好調であり、新刊及び重版需要に加え、新規引き合いも増加しております。一方、雑誌付録、販促品等は厳しい受注競争のため計画したほどの成果は上げられず、セグメント売上高は36億8千6百万円(前年同期比11.4%増)にとどまりました。また、在庫費用削減のため、在庫圧縮を図った結果一時的な在庫評価損が発生いたしました。為替対策やグループシナジーによる原価低減策が功を奏し、セグメント利益は1億9千9百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は152億7千1百万円(前年同期比1.1%減)となり、営業損失は1億9千万円(前年同期は営業損失4千8百万円)、経常損失は2億5千8百万円(前年同期は経常損失3千6百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は2億5千4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益3億5千万円)となりました。

2. 当期・次期の配当について

当社は、事業拡大や経営体質の強化を図るために必要な資金を内部留保しつつ、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株あたり2円としております。

なお、次期の配当につきましては、経営環境、業績見通し等を勘案し、引き続き、1株あたり2円を予定しております。

当社では収益の改善に努め、継続的に利益を確保できる企業体質を目指してまいりますので、株主の皆様にはご理解を賜りますようお願い申し上げます。

3. 今後の見通しについて

主力の情報・印刷事業におきましては、平成31年1月よりの用紙価格の値上げが打ち出されており、厳しい環境が続くものと思われませんが、WEB受注も含めデジタル印刷の売り上げ拡大を図るとともに、独自製品の拡販にも注力し、付加価値の確保を図る一方、固定費の削減のための施策を大胆に進めてまいります。メディア事業におきましては、エリア戦略の見直し、新規分野であるHP制作の拡大を含め、事業のリストラクチャリングを進めます。また、知育事業におきましては、既存商品による安定的な利益確保に加え、新規企画及び商品の開発により利益の拡大を図ってまいります。

以上により、次期(平成31年10月期)の連結業績は、売上高158億円、営業利益2億8千万円、経常利益2億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年1月

株式会社 **ウイルコホールディングス**
代表取締役会長兼社長 **若林 裕紀子**

情報・印刷事業

- 販売促進企画
- 商業印刷
- 出版印刷

お客様とともに「最良」を創り上げる追求心

顧客価値の高いオリジナル製品は、お客様のご要望を形にする過程で生まれたものがほとんどです。

「お客様にとって"最良"の製品」をモットーに、デザイン制作から印刷、加工まですべての工程において今まで以上の製品を目指し、業務にあたっています。

国内屈指の最新鋭設備

輪転機と加工機を直結することにより最終製品まで仕上げるインライン・フィニッシング・システムをはじめ、小ロット多品種の大量可変印刷に対応するデジタル設備の導入など、最新鋭の機械設備によって、印刷に関する様々なニーズに応えます。

ユニークでギミックが効いた製品ラインナップ

開く・めくる・はがす、紙ならではのギミックを効かせた製品ラインナップは、受け取った方が思わず「アクションを起こしたくなる」工夫が満載です。これらのオリジナル製品を通じて、開封率やレスポンス率を高める効果的な販促ソリューションをお客様に提供します。



 **GOOD DESIGN
AWARD 2016**

充実したクリエイティブ体制

消費者を引き付ける販売促進ツールを提供するため、40名を超えるクリエイティブスタッフが効果的な企画立案からデザイン編集までお客様をサポートします。書籍出版のための組版スタッフも充実しています。また社内撮影スタジオでの専属カメラマンによる撮影、Webクリエイターによるデジタルコンテンツなど幅広いニーズに対応しています。

環境にやさしい製品の推進

剥離紙(台紙)をなくしてゴミを減らす「ライナーレスラベル」や「ごみゼロラベル」、針金を使わない糊付け製本の「グルー製本」など、環境対策型製品の提供・普及に努めています。また、印刷工程においても「水なし印刷」を推進し、環境へ配慮しています。

ウェブ受注拡大への取組

ECサイト「ウイルダイレクト」を立ち上げ、デジタル印刷の受注増加を図っております。また、当社独自製品の受注増加のために新たなサイトを立ち上げ、アクセス数の増加に伴い売上高も増加しています。



バリアブル印刷

業界一の圧倒的な高品質と高付加価値印刷を実現するデジタル・オフセット印刷機。一般商業印刷、出版、フォト、紙器パッケージに至るまで幅広いアプリケーションに対応。



1to1 マーケティングを実現する
バリアブル印刷

柔軟にマーケティングと連動する
API to Print

高品質を実現する最新の
デジタル印刷設備

さまざまなDMを制作できる独自の
加工設備

メディア事業

■ 無料情報誌の発行

地域密着の無料情報誌

ばどの基本的コンセプト「地域密着」を軸に、地域の人々の声を、また、地域の事業者様の広告を地域の人々に発信する紙媒体としての機能を果たしています。

人材ソリューション事業

地域に根ざした情報を、紙、IT、そして合同就職イベント等多様なメディアを駆使しながらお届けし、企業と求職者のマッチングを図っています。

ウェブマーケティング事業

長年のフリーペーパー発行で培った成果の出る販促ノウハウをもとにホームページ制作～コンテンツ企画～コンサルティングをワンストップで提供する事業を展開しています。



知育事業

- 音のでる絵本、教育玩具の企画販売
- 雑誌等の付録・販促用景品の企画販売

子どもたちに夢を与える絵本

いまや全国的に認知度の高い『音のでる絵本』。本物と同じ絶対音階で演奏できる『ピアノ絵本』をはじめ、たいこや木琴、マラカスなどをモチーフとした楽器絵本の数々、ひらがなや英語を学べるといった知育本も人気があります。



成長につながる楽しいおもちゃ

教育玩具は、遊びだけでなく学習効果を期待されています。小さなお子さまでも安全に使える、操作が簡単、親しみやすい、といった数々の条件をクリアさせながら、学びのための製品をお客様とともに作り上げていきます。



新規商材、高齢者向け商品の拡充

『音のでる絵本』などモジュール付き商品にとどまらず、『スクラッチアート』『ウレタンえほん』などの新商材、豪華版カラオケモジュール本など高齢者向け商品の拡充を行っています。黒い面を付属のペンで削ると鮮やかな色が現れる『スクラッチアート』はヒット商品になりました。



鈴木出版株式会社が当社グループ知育事業に参加

昨年、鈴木出版株式会社が新たな仲間として当社グループに加わりました。同社は全国の幼稚園・保育園に販売店（東京、埼玉、大阪は直販）を通じ、絵本や教材等の用品を販売しています。ウィズコーポレーションの音の出る絵本、ウイル・コーポレーションの卒園アルバムなどを新たな商品として手掛けることによる、グループシナジー効果も期待できます。



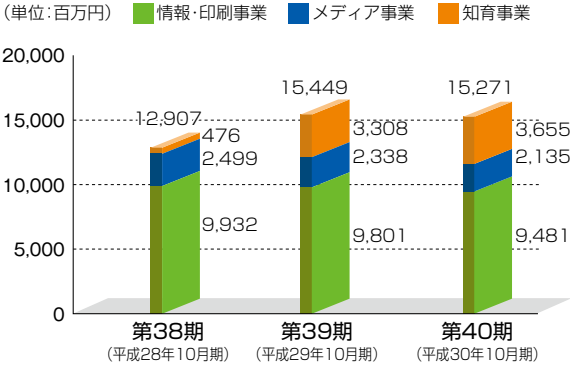
全国 7 拠点にて「内覧会・展示会」を一斉開催

昨年、当社グループ製品の中でも特にお客様に喜ばれた製品を、幅広くご紹介させて頂くために、ウイル・コーポレーション各拠点にて「内覧会・展示会」を開催いたしました。大阪支店での成功を横展開すべく、石川営業所、東京支店、関東第一工場、名古屋支店、九州営業所と次々と開催され、いずれの拠点でも好評とのお声を多く頂き、既存・新規顧客の拡大にもつながりました。

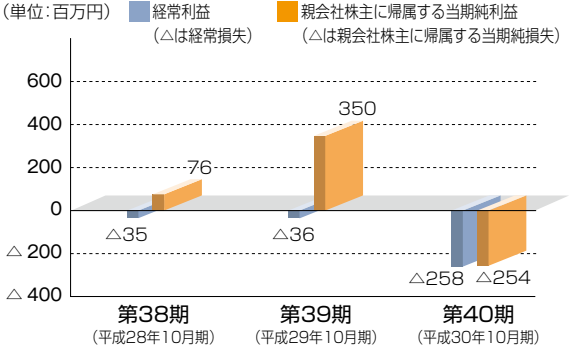


// 主要な連結経営指標等の推移

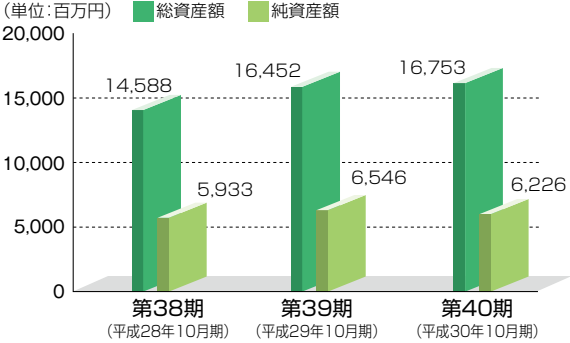
売上高



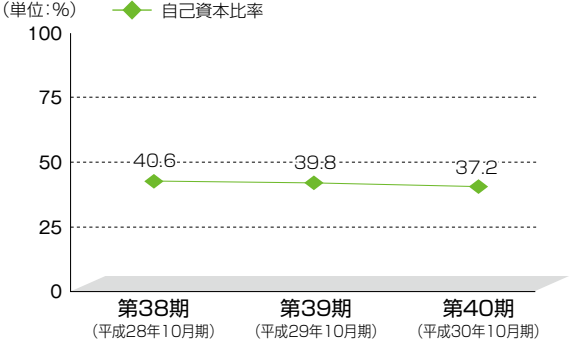
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



総資産額／純資産額



自己資本比率



(ご参考)

(単位: 百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	9,481	9,801	△ 320	△ 3.3%
メディア事業	2,135	2,338	△ 203	△ 8.7%
知育事業	3,655	3,308	346	10.5%
売上高	15,271	15,449	△ 177	△ 1.1%
情報・印刷事業	199	267	△ 68	△ 25.5%
メディア事業	△ 146	△ 80	△ 66	△ 82.4%
知育事業	199	192	6	3.5%
セグメント利益	252	379	△ 127	△ 33.6%
全社費用	△ 442	△ 427	14	3.4%
営業利益	△ 190	△ 48	△ 142	△ 295.5%

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 平成30年10月31日現在	前連結会計年度末 平成29年10月31日現在
資産の部		
流動資産	8,908	8,506
現金及び預金	3,850	3,577
受取手形及び売掛金	3,696	3,416
商品及び製品	700	341
仕掛品	158	120
原材料及び貯蔵品	197	314
繰延税金資産	0	5
その他	321	748
貸倒引当金	△ 15	△ 19
固定資産	7,844	7,946
有形固定資産	5,812	5,720
建物及び構築物	1,147	1,257
機械装置及び運搬具	684	837
土地	2,602	2,175
リース資産	1,327	1,388
建設仮勘定	—	6
その他	51	55
無形固定資産	584	508
のれん	500	448
その他	83	59
投資その他の資産	1,447	1,717
投資有価証券	1,019	1,186
長期貸付金	142	146
破産更生債権等	34	37
その他	343	456
貸倒引当金	△ 91	△ 109
資産合計	16,753	16,452

科 目	当連結会計年度末 平成30年10月31日現在	前連結会計年度末 平成29年10月31日現在
負債の部		
流動負債	5,548	5,132
支払手形及び買掛金	1,844	1,565
電子記録債務	1,307	1,292
短期借入金	450	550
1年内返済予定の長期借入金	762	630
リース債務	232	218
未払金	503	528
未払法人税等	37	41
繰延税金負債	3	—
預り金	13	13
返品調整引当金	57	32
賞与引当金	90	92
設備関係支払手形	—	9
資産除去債務	14	—
その他	231	157
固定負債	4,977	4,773
長期借入金	2,881	2,600
リース債務	1,208	1,285
退職給付に係る負債	480	464
繰延税金負債	303	358
資産除去債務	24	29
その他	79	34
負債合計	10,526	9,905
純資産の部		
株主資本	6,063	6,417
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,759
利益剰余金	2,641	2,994
自己株式	△ 4	△ 4
その他の包括利益累計額	163	125
その他有価証券評価差額金	89	200
繰延ヘッジ損益	34	—
為替換算調整勘定	12	△ 76
退職給付に係る調整累計額	26	1
非支配株主持分	—	3
純資産合計	6,226	6,546
負債及び純資産合計	16,753	16,452

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成29年11月1日から 平成30年10月31日まで	平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで
売上高	15,271	15,449
売上原価	11,949	12,194
売上総利益	3,322	3,254
販売費及び一般管理費	3,512	3,302
営業損失 (△)	△ 190	△ 48
営業外収益	76	153
営業外費用	144	141
経常損失 (△)	△ 258	△ 36
特別利益	209	507
特別損失	164	39
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失 (△)	△ 212	431
法人税等	41	80
当期純利益 又は当期純損失(△)	△ 254	350
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 254	350

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成29年11月1日から 平成30年10月31日まで	平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	627	444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63	△ 501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 291	220
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△ 2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	275	161
現金及び現金同等物の期首残高	2,978	2,817
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 0	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,253	2,978

連結株主資本等変動計算書 (平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成29年11月1日残高	1,667	1,759	2,994	△ 4	6,417	200	—	△ 76	1	125	3	6,546
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当	—	—	△ 98	—	△ 98	—	—	—	—	—	—	△ 98
親会社株主に帰属する 当期純損失	—	—	△ 254	—	△ 254	—	—	—	—	—	—	△ 254
自己株式の取得	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	—	—	—	△ 0
連結子会社株式の 取得による持分の増減	—	△ 0	—	—	△ 0	—	—	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (総額)	—	—	—	—	—	△ 110	34	88	24	37	△ 3	33
連結会計年度中の 変動額合計	—	△ 0	△ 352	△ 0	△ 353	△ 110	34	88	24	37	△ 3	△ 319
平成30年10月31日残高	1,667	1,758	2,641	△ 4	6,063	89	34	12	26	163	—	6,226

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度末	前事業年度末
	平成30年10月31日現在	平成29年10月31日現在
資産の部		
流動資産	1,609	1,800
固定資産	9,302	9,421
有形固定資産	3,170	3,241
無形固定資産	2	4
投資その他の資産	6,129	6,175
資産合計	10,912	11,221
負債の部		
流動負債	1,162	1,060
固定負債	3,612	3,630
負債合計	4,774	4,690
純資産の部		
株主資本	6,047	6,330
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,765	1,765
利益剰余金	2,615	2,897
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	89	200
その他有価証券 評価差額金	89	200
純資産合計	6,137	6,531
負債及び純資産合計	10,912	11,221

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	平成29年11月1日から 平成30年10月31日まで	平成28年11月1日から 平成29年10月31日まで
売上高	679	667
売上原価	96	100
売上総利益	582	567
販売費及び一般管理費	443	426
営業利益	139	141
営業外収益	45	213
営業外費用	362	54
経常利益 又は経常損失 (△)	△ 177	300
特別利益	151	93
特別損失	100	25
税引前当期純利益 又は税引前当期純損失 (△)	△ 127	368
法人税等	56	△ 110
当期純利益 又は当期純損失 (△)	△ 184	478

株主資本等変動計算書 (平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日まで)

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
平成 29 年 11 月 1 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	1,221	2,897	△ 0	6,330	200	200	6,531
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△ 98	△ 98	—	△ 98	—	—	△ 98
当期純損失	—	—	—	—	—	—	△ 184	△ 184	—	△ 184	—	—	△ 184
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 110	△ 110	△ 110
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	△ 282	△ 282	△ 0	△ 282	△ 110	△ 110	△ 393
平成 30 年 10 月 31 日残高	1,667	1,765	1,765	53	622	1,000	939	2,615	△ 0	6,047	89	89	6,137

会社概要／株式情報

■会社概要（平成31年1月29日現在）

■会社の概況

商号	株式会社ウイルコホールディングス Wellco Holdings Corporation
設立	昭和54年（1979年）5月
代表者	代表取締役会長兼社長 若林 裕紀子
資本金	16億6,762万円
本社所在地	石川県白山市福留町370番地
事業所	本社 東京事務所
重要な子会社	株式会社ウイル・コーポレーション 株式会社関西ぼど 株式会社ウィズコーポレーション

■株式情報（平成30年10月31日現在）

■株式の状況

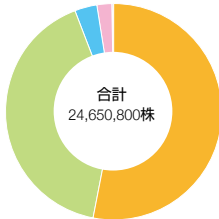
発行可能株式総数	76,600,000株
発行済株式総数	24,650,800株
株主総数	2,063名

■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社わかさ屋	4,800,000	19.47
若林 和芳	4,636,160	18.81
若林 裕紀子	1,920,000	7.79
株式会社日本創発グループ	1,200,000	4.86
ウイルコ役員持株会	1,068,600	4.33
株式会社桂紙業	1,000,000	4.05
大日精化工業株式会社	960,000	3.89
株式会社北國銀行	720,000	2.92
ウイルコ従業員持株会	587,616	2.38
大和輸送株式会社	504,000	2.04

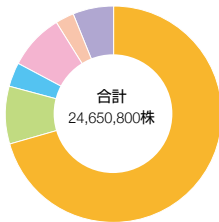
(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■株式分布状況（所有者別）



個人・その他 (53.32%)	13,143,893株
その他国内法人 (41.02%)	10,111,861株
金融機関 (3.40%)	838,500株
証券会社 (2.02%)	498,262株
外国個人・外国法人 (0.22%)	53,594株
自己株式 (0.02%)	4,690株

■株式分布状況（所有数別）



500,000株以上 (70.57%)	17,396,376株
100,000株以上 500,000株未満 (8.82%)	2,173,500株
50,000株以上 100,000株未満 (3.45%)	851,188株
10,000株以上 50,000株未満 (8.46%)	2,085,180株
5,000株以上 10,000株未満 (2.64%)	650,700株
5,000株未満 (6.06%)	1,493,856株

■ 事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
■ 定時株主総会	1 月中
■ 基準日	10 月 31 日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
■ 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
■ 公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.wellco-corp.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。